

## 7月定例会教育委員会 会議録

1、開催日時 令和2年7月28日（火）午後2時00分から午後3時00分

2、開催場所 市役所2階第一会議室

### 3、出席委員の氏名

教育長 上野 清

職務代理者 白戸 吉男

委員 小俣 洋、三枝 泰子、小俣 和英、遠山 江理

### 委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐

4、教育長開会宣言

5、会期の決定

6、今回会議録署名委員

白戸 吉男委員、小俣 洋委員が指名される。

7、前回の会議録の承認

職員が6月定例会会議録を朗読し承認される。

8、教育長報告

令和2年6月29日から令和2年7月22日までの教育長活動が報告された。

9、議 事

議第4号 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について

[説明] 学校教育課長

令和3年度使用中学校教科用図書の採択について、7月16日、上野教育長が

出席した第2回都留地区教科書採択協議会の報告を受けました。

中学校用教科用図書について、資料の8ページから14ページまでそれぞれの教科書への意見等が示されています。資料15ページには、最終的に、協議会で採択された各教科の選定案が掲載してあります。

各地教委において確認と決定をし、今月までに事務局に報告することになっています。今後は都留地区、南都留、北都留の全地教委の一致が確認でき次第、教科書採択決定の通知が届くことになります。

採択された教科書を確認のうえ、ご審議をお願いいたします。

上野 清教育長

教科書採択については、資料15ページの一覧表になりますが、選定の理由等は、一覧に中学各学校からの意見、教科書展示会への訪問閲覧者の意見などを参考にしています。また、広域採択なので、郡内一連で使用するようになります。

文言等で疑問があるようでしたら出していただきながら、意見交換をしてみてくださいと思います。何かあれば質問を受けますので、時間を取りたいと思います。

小俣 洋委員

何年間使うものですか。

上野 清教育長

4年間です。

小俣 洋委員

4年間に教科書の内容に修正等は加えないものなのでしょうか。

教育次長

基本的には修正等はないです。

以上の発言あり。

上野清教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

【原案のとおり決定】

## 議第5号 令和2年度7月臨時議会補正予算（案）について

〔説明〕 学校教育課長

7月臨時議会補正予算（案）になりますが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金によるもので、地方公共団体が新型コロナ感染症に対して取り組む事業等に対する補助金ですが、まだ交付決定になっていませんので、一般財源で計上しています。交付決定後、国の補助金として充当し財源更正を行います。

小中学校情報教育環境整備事業ですが、災害や感染症の拡大による臨時休校等においてICTを活用した授業が展開できるよう、GIGAスクール構想を実現するための備品を整備し、安定した学習環境の構築を図ります。これは一人一台端末を整備するための事業費です。総額9千809万2千円であります。財源内訳は、国庫支出金（公立学校情報機器整備費補助金）6千472万2千円。一般財源として3千337万円であります。この一般財源につきましても交付決定次第、財源更正し地方創生交付金の国庫補助になりますので、この事業につきましても、100%補助金で賄えることとなります。

次に補習等のための指導員等派遣事業であります。

新型コロナウイルスによって、休校等で学習進度への影響を緩和する取り組みとして、子供たち一人ひとりの学習定着度に応じたきめ細かな指導を図る環境づくりや教師等の業務をサポートする人材を雇用し、緊急的に指導員等の追加配置を行うものです。この事業は間接補助で県を通じて国から市へ交付されるものであります。総額3千410万3千円あります。財源内訳は、県支出金1千743万1千円（学力向上支援スタッフ追加配置事業費補助金）。学力向上支援スタッフ追加配置事業は、通常の授業の補助員で教員免許は問いません。募集は11名の募集で、基本1日7時間勤務を予定しています。また、県支出金1千290万7千円（スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金）。スクール・サポート・スタッフ配置事業は、授業の終了後、例えば学校施設の消毒や清掃するスタッフで、1日4時間勤務で22名の募集になります。

一般財源は、376万5千円になります。こちらは共済費等になります。

募集人数については、学校の要望等も踏まえたなかでの人数となっています。

次に小中学校感染症予防対策事業として、新型コロナウイルス感染症の予防対策である、「新しい生活様式」でマスク着用が推奨されているなか市販の子ども用マスクが品薄の状況であるため、小中学校の児童生徒を対象に一人につき10枚の子ども用マスクを配布するものであります。総額279万5千円になります。財源内訳は、一般財源になっていますが、後ほど国庫支出金が充てられます。こちらにつきましては、市民一人にマスクを50枚配布しましたが、小学校の低学年の子どもには少し大きすぎるというなかで、繰り返し使用できる大・中・小の3サイズを用意し、子どもにあったサイズのマスクを配布する予定です。

学校教育課の臨時議会での補正予算については以上になります。

#### [説明] 教育次長

続きまして、生涯学習課の補正予算ですが、図書等消毒対策事業として、図書館に返却される図書を消毒する機材を導入するものであります。

今までは職員が手作業で返却された図書を消毒していましたが、機械的な処理をして利用者に安心して図書を借りていただくためのものです。

総額84万7千円になります。

次に、体育施設オンライン予約システム導入事業ですが、これまで体育施設等の貸し出しについて、都度来庁して申請等を行うのですが、かなり密な状態になっているため、オンライン化して密を防ぎ、それとともにオンライン決裁による利便性を向上させるためのシステム構築をするものです。

総額430万8千円になります。

以上ですが、コロナ対策として国から交付金がおってきます。交付金を見越したなかでコロナ感染症対応するために事業として補正を組んでいます。

7月31日に臨時会を開いて補正予算の議決をしていただくことになります。

小俣 洋委員

子ども用マスクの価格は、おいくらでしょうか。

学校教育課長

価格については、見積もり合わせをして決定します。

小俣 洋委員

コロナ対策にかかる費用は総額どれくらいでしょうか。

教育次長

一般会計、企業会計の総額で約5億円を予定しています。

小俣和英委員

GIGAスクール構想については、コロナがなかったとしても補助はあるということですが、地方創生交付金をもらおうと当初予定していたものが削減されるのかなど関連性を教えてください。

学校教育課長

GIGA スクール構想は、公立学校情報機器整備費補助金が3分の2あります。一人一台端末を購入しても利用するためには、設定費用や備品等の費用がかかります。国の補助基準だけでは足りない部分については、一般財源を投入しなければなりません。その一般財源について、今回、地方創生交付金を新型コロナウイルス感染症対応の中で使えるようにできる制度となっていますので、一般財源を投入しないで対応できるということになります。

白戸吉男委員

補修等のための指導員等の派遣事業についても、既に学力向上支援スタッフ配置事業が行われていると思いますが、同じような意味合いでしょうか。

学校教育課長

既に行っている事業の拡充になります。特に休業等で遅れているところを補充するということだと思います。

小俣洋委員

端末は、全国の市町村で購入するのであれば間に合いますか。

学校教育課長

年度内に事業が収まらない場合は、繰越明許する予定でいます。

これらの事業については、案として議会に提出してよろしいかの承認ですので、ご承知おきください。

以上の発言あり。

上野清教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

**【原案のとおり決定】**

## 10、その他

〔説明〕 学校教育課長補佐

- (1) 学校訪問の日程及びテーマについて
- (2) その他

山梨県で発表された新型コロナウイルス感染症に関する発生状況について

〔説明〕 生涯学習課長補佐

- (1) 都留市生涯学習推進計画の策定について

**【 了 知 】**

## 11、教育長閉会宣言